

# ロールプレイ 解説

## 適切な初期対応

## I-1+. 観察：緊急性が高い症状に注意

A「お腹が痛くなってきました。ゴホゴホ(咳)」

B「**息苦しさ**はないか？お腹の痛みは**我慢**できないくらい**痛む**か？横になれるか？」

A「息苦しさはないです、気持ち悪いけど、お腹の痛みは少しです。」

『**緊急性が高いアレルギー症状**』でないかを確認

⇒今のところあてはまらない

⇒**症状は刻々と変化しうる。引き続き注意。**

「確かエピペンを持っていたな、鞆の中か？」

⇒**緊急性が高いアレルギー症状への準備**

## I-2+. 人を呼ぶ

B:「D君、A君がアレルギー症状あるので、養護E先生を呼んできてくれるか、行く途中でC先生にきてくれるように声かけて」

- 『児童生徒から離れず、目を離さない』が基本。
- 生徒に、先生や養護教諭を呼びにいかせる
- なるべく多くの『人を呼ぶ』

### III-2+. 対応：症状への対応

B: (緊急性が高いアレルギー症状がでてきた)

「A君、息がしんどいか？」

A:「しんどいです、吐きそうな感じもあります」

吐きそう

⇒ 顔と体を横に向ける

## Ⅱ. 準備+

B:「C先生、「緊急時対応個別カード」「緊急時対応経過記録表」、AEDを職員室から、エピペンを教室の(後ろのドアを入れてすぐの一番端、上段にある)A君の鞆(の外側のポケット)からとってきてください」

エピペンの保管: 全職員が共通理解

- 学校なら「職員室のどこ」、「教室のどこ」と決めておく
- 児童生徒の鞆でも良いが、鞆の置き場所、鞆のどこにエピペンが入っているかを決めておく
- 本人がカバンの管理できないのなら難しい。